

鳥取県土木工事共通仕様書 訂正前後対比表

訂正後

第3編土木工事共通編 2-3-31現場塗装工 9. 塗装の禁止条件

表2-9 塗装禁止条件

塗装の種類	気温 (°C)	湿度 (RH%)
長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上
無機ジンクリッチプライマー 無機ジンクリッチペイント	0以下	50以下
有機ジンクリッチペイント	10以下	85以上
<u>エポキシ樹脂塗料下塗 ※</u> <u>変性エポキシ樹脂塗料下塗</u> <u>変性エポキシ樹脂塗料内面用 ※</u>	10以下	85以上
<u>亜鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗</u> <u>弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗</u>	5以下	85以上
<u>超厚膜形エポキシ樹脂塗料</u>	10以下	85以上
<u>エポキシ樹脂塗料下塗 (低温用)</u> <u>変性エポキシ樹脂塗料下塗 (低温用)</u> <u>変性エポキシ樹脂塗料内面用 (低温用)</u>	5以下、20以上	85以上
<u>無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 ※</u>	10以下、30以上	85以上
<u>無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 (低温用)</u>	5以下、20以上	85以上
<u>コンクリート塗料用エポキシ樹脂プライマー</u>	5以下	85以上
<u>ふっ素樹脂塗料用中塗</u> <u>弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗</u> <u>コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗</u> <u>コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗</u>	5以下	85以上
<u>ふっ素樹脂塗料上塗</u> <u>弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗</u> <u>コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗</u> <u>コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗</u>	0以下	85以上
鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料中塗 長油性フタル酸樹脂塗料上塗	5以下	85以上

注) ※印を付した塗料を低温時に塗布する場合は、低温用の塗料を用いなければならない。

訂正前

第3編土木工事共通編 2-3-31現場塗装工 9. 塗装の禁止条件

表2-9 塗装禁止条件

塗装の種類	気温 (°C)	湿度 (RH%)
長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上
無機ジンクリッチプライマー 無機ジンクリッチペイント	0以下	50以下
<u>有機ジンクリッチプライマー</u> <u>有機ジンクリッチペイント</u>	10以下	85以上
<u>耐熱プライマー</u>	5以下	85以上
<u>エポキシ樹脂塗料 (水中部用)</u> <u>エポキシ樹脂塗料 (大気部用)</u> <u>変性エポキシ樹脂塗料 (水中部用)</u> <u>変性エポキシ樹脂塗料 (大気部用)</u>	10以下	85以上
<u>エポキシ樹脂塗料 (水中部用) (低温用)</u> <u>エポキシ樹脂塗料 (大気部用) (低温用)</u> <u>変性エポキシ樹脂塗料 (水中部用) (低温用)</u> <u>変性エポキシ樹脂塗料 (大気部用) (低温用)</u>	5以下 20以上	85以上
鉛・クロムフリーさび止めペイント	5以下	85以上
<u>エポキシMIO塗料</u> <u>エポキシMIO塗料 (低温用)</u>	10以下 5以下20以上	85以上 85以上
<u>エポキシ樹脂塗料中塗</u> <u>ポリウレタン樹脂塗料用中塗</u> <u>ふっ素樹脂塗料用中塗</u>	5以下	85以上
<u>エポキシ樹脂塗料上塗</u> <u>ポリウレタン樹脂塗料上塗</u> <u>ふっ素樹脂塗料用上塗</u>	5以下 0以下	85以上 85以上
長油性フタル酸樹脂塗料中塗・上塗	5以下	85以上
<u>ガラスフレーク含有塗料用 (エポキシ樹脂)</u> <u>ガラスフレーク含有塗料用 (ビニルエステル樹脂)</u>	5以下	85以上
<u>ガラス繊維強化プラスチック (FRP)</u>	5以下	85以上
<u>超厚膜形エポキシ</u>	10以下	85以上
<u>耐熱アルミニウム塗料</u> <u>アルミニウム塗料</u>	5以下	85以上
<u>シリコン系耐熱塗料</u> <u>シリコン系汚熱塗料</u>	5以下 5以下	85以上 85以上

注) ※印を付した塗料を低温時に塗布する場合は、低温用の塗料を用いなければならない。

鳥取県土木工事共通仕様書 訂正前後対比表

訂正後

第3編土木工事共通編 2-12-11工場塗装工 3. 気温、湿度の条件

表2-59 塗装禁止条件

塗装の種類	気温 (°C)	湿度 (RH%)
長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上
無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント	0以下	50以下
有機ジंकリッチペイント	10以下	85以上
<u>エポキシ樹脂塗料下塗 ※</u> <u>変性エポキシ樹脂塗料下塗</u> <u>変性エポキシ樹脂塗料内面用 ※</u>	10以下	85以上
<u>亜鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗</u> <u>弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗</u>	5以下	85以上
<u>超厚膜形エポキシ樹脂塗料</u>	10以下	85以上
<u>エポキシ樹脂塗料下塗 (低温用)</u> <u>変性エポキシ樹脂塗料下塗 (低温用)</u> <u>変性エポキシ樹脂塗料内面用 (低温用)</u>	5以下、20以上	85以上
<u>無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 ※</u>	10以下、30以上	85以上
<u>無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 (低温用)</u>	5以下、20以上	85以上
<u>コンクリート塗料用エポキシ樹脂プライマー</u>	5以下	85以上
<u>ふっ素樹脂塗料用中塗</u> <u>弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗</u> <u>コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗</u> <u>コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗</u>	5以下	85以上
<u>ふっ素樹脂塗料上塗</u> <u>弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗</u> <u>コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗</u> <u>コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗</u>	0以下	85以上
鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料中塗 長油性フタル酸樹脂塗料上塗	5以下	85以上

注) ※印を付した塗料を低温時に塗布する場合は、低温用の塗料を用いなければならない。

訂正前

第3編土木工事共通編 2-12-11工場塗装工 3. 気温、湿度の条件

表2-59 塗装禁止条件

塗装の種類	気温 (°C)	湿度 (RH%)
長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上
無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント	0以下	50以下
<u>有機ジंकリッチプライマー</u> <u>有機ジंकリッチペイント</u>	10以下	85以上
<u>耐熱プライマー</u>	5以下	85以上
<u>エポキシ樹脂塗料 (水中部用)</u> <u>エポキシ樹脂塗料 (大気部用)</u> <u>変性エポキシ樹脂塗料 (水中部用)</u> <u>変性エポキシ樹脂塗料 (大気部用)</u>	10以下	85以上
<u>エポキシ樹脂塗料 (水中部用) (低温用)</u> <u>エポキシ樹脂塗料 (大気部用) (低温用)</u> <u>変性エポキシ樹脂塗料 (水中部用) (低温用)</u> <u>変性エポキシ樹脂塗料 (大気部用) (低温用)</u>	5以下 20以上	85以上
鉛・クロムフリーさび止めペイント	5以下	85以上
<u>エポキシMIO塗料</u>	10以下	85以上
<u>エポキシMIO塗料 (低温用)</u>	5以下20以上	85以上
<u>エポキシ樹脂塗料中塗</u> <u>ポリウレタン樹脂塗料用中塗</u> <u>ふっ素樹脂塗料用中塗</u>	5以下	85以上
<u>エポキシ樹脂塗料上塗</u>	5以下	85以上
<u>ポリウレタン樹脂塗料上塗</u> <u>ふっ素樹脂塗料用上塗</u>	0以下	85以上
長油性フタル酸樹脂塗中塗・上塗	5以下	85以上
<u>ガラスフレーク含有塗料用 (エポキシ樹脂)</u> <u>ガラスフレーク含有塗料用 (ビニルエステル樹脂)</u>	5以下	85以上
<u>ガラス繊維強化プラスチック (FRP)</u>	5以下	85以上
<u>超厚膜形エポキシ</u>	10以下	85以上
<u>耐熱アルミニウム塗料</u> <u>アルミニウム塗料</u>	5以下	85以上
<u>シリコン系耐熱塗料</u>	5以下	85以上
<u>シリコン系汚熱塗料</u>	5以下	85以上

注) ※印を付した塗料を低温時に塗布する場合は、低温用の塗料を用いなければならない。

鳥取県土木工事共通仕様書 訂正前後対比表

訂 正 後	訂 正 前
<p>第6編砂防編 1-8-1一般事項</p> <p>7. コンクリートの打込み</p> <p>受注者は、次の事項に該当する場合は、コンクリートの打込みを、日平均気温が4℃を超え25℃以下の範囲に予想されるときに実施しなければならない。日平均気温の予想がこの範囲にない場合には、第1編第3章第9節暑中コンクリート、10節寒中コンクリートの規定による<u>ものとし、コンクリートの打込み方法、養生の方法及び期間を施工計画書に記載しなければならない。</u></p> <p><u>8. 養生についての承諾 (削除)</u></p>	<p>第6編砂防編 1-8-1一般事項</p> <p>7. コンクリートの打込み</p> <p>受注者は、コンクリートの打込みを、日平均気温が4℃を超え25℃以下の範囲に予想されるときに実施しなければならない。日平均気温の予想がこの範囲にない場合には、第1編第3章第9節暑中コンクリート、10節寒中コンクリートの規定による。</p> <p><u>(1) コンクリート打設現場の日平均気温が4℃以下になるおそれのある場合。</u></p> <p><u>(2) 打込むコンクリートの温度が25℃以上になるおそれのある場合。</u></p> <p><u>(3) 降雨・降雪の場合。</u></p> <p><u>(4) 強風その他、コンクリート打込みが不適當な状況になった場合。</u></p> <p><u>8. 養生についての承諾</u></p> <p><u>受注者は、本条6項の場合は、養生の方法及び期間について、施工前に設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。</u></p>